

議案第39号

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるについて

人権擁護委員の候補者に下記の者を推薦したいので、議会の意見を求める。

令和7年3月27日提出

(2025年)

城陽市長 奥田 敏晴

記

氏名 奥田 雄二

提案理由

人権擁護委員である藤井幹世委員の任期は、令和7年（2025年）6月30日に満了となり、後任者を推薦したいので、人権擁護委員法（昭和24年法律第139号）第6条第3項の規定に基づいて、本案を提案するものである。

参考条文

人権擁護委員法（抜粋）

（委員の推薦及び委嘱）

第6条 人権擁護委員は、法務大臣が委嘱する。

2 略

3 市町村長は、法務大臣に対し、当該市町村の議会の議員の選挙権を有する住民で、人格識見高く、広く社会の実情に通じ、人権擁護について理解のある社会事業家、教育者、報道新聞の業務に携わる者等及び弁護士会その他婦人、労働者、青年等の団体であつて直接間接に人権の擁護を目的とし、又はこれを支持する団体の構成員の中から、その市町村の議会の意見を聞いて、人権擁護委員の候補者を推薦しなければならない。

4～8 略